

ハイブリッドプリンタ TM-H5000II シリーズ 設置マニュアル



400826604

ご使用前に

ご使用の際は、必ず「設置マニュアル」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
「設置マニュアル」は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

© セイコーエプソン株式会社 1997

安全にお使いいただくために

記号の意味

この設置マニュアル及び製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の記号が使われています。
その意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告：

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全上のご注意



警告：

- 煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。
すぐに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜き、販売店またはサービス窓口にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 分解や改造はしないでください。
けがや火災・感電のおそれがあります。
- 必ず指定されている電源をお使いください。
他の電源を使うと、火災・感電のおそれがあります。
- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。
- 本製品の内部に異物を入れたり、落としたりしないでください。
火災・感電のおそれがあります。
- 万一、水などの液体が内部に入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜き、販売店またはサービス窓口にご相談ください。
火災・感電のおそれがあります。

 **警告：**

- 電源コードのたこ足配線はしないでください。
火災のおそれがあります。
家庭用電源コンセント（交流100ボルト）から電源を直接取ってください。
- 電源コードの取り扱いには注意してください。
誤った取り扱いをすると火災・感電のおそれがあります。
 - ・電源コードを加工しない。
 - ・電源コードの上に重いものを乗せない。
 - ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
 - ・熱器具の近くに配線しない。
 - ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。電源コードが傷んだら、販売店またはサービス窓口へ交換をご依頼ください。

 **注意：**

- 各種ケーブルは、設置マニュアルで指示されている以外の配線はしないでください。
誤った配線をする、故障や火災のおそれがあります。
- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
故障や火災・感電のおそれがあります。
- 本製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。
倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。
- マニュアルカッターに手や指を強く押し付けないように注意してください。
 - ・印刷された用紙を取り出す時
 - ・ロール紙交換時 などけがをするおそれがあります。
- 本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プリンタに詰まった紙を取り除く場合、プリントヘッドには決して触れないでください。
プリントヘッドが低温になってから作業を始めてください。
長時間印字後は、プリントヘッドが高温になっているので、やけど等のおそれがあります。
- 本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

マニュアルの記号の見方について

本マニュアルでは以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品をご使用ください。



警告：

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



注記：

製品の性能を維持するための必要な制限事項、および本製品の取り扱いについて有効な情報を示しています。

取り扱い上の注意

- 用紙は指定紙を使用してください。
- プリンタの汚れを除去する際には、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。
- プリンタを輸送する時または長時間プリンタを使用しない時は、輸送用ダンパーを取り付けてください。

モジュラータイプコネクタについて

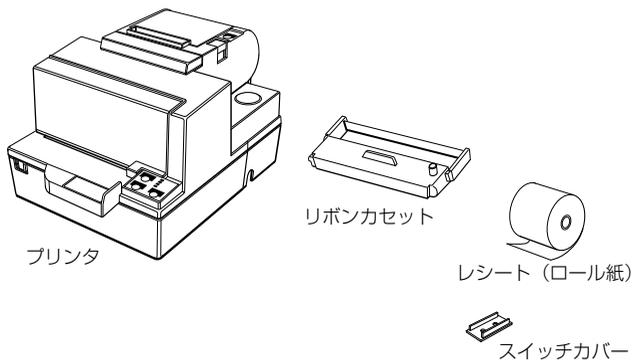
本製品の裏のモジュラータイプコネクタ付近（ドローキックアウトコネクタ、およびカスタマディスプレイコネクタ）には、次のような注意ラベルが貼ってあります。



本製品は、キャッシュドロー専用コネクタ、カスタマディスプレイ専用コネクタとして、モジュラータイプコネクタを使用しています。このコネクタには決して一般公衆回線などのコネクタを接続しないでください。

1 開梱

下記の同梱品は、標準仕様のものを示しています。

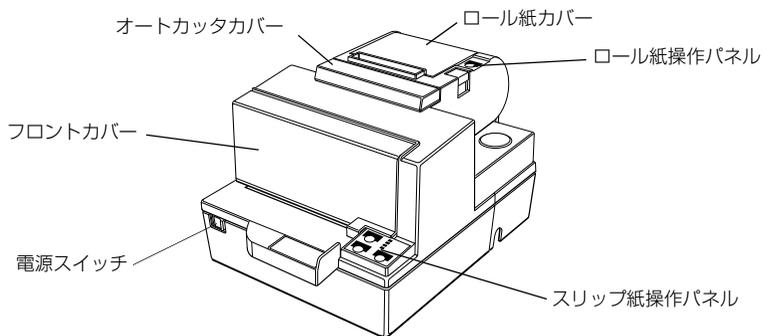


🔗 注記：

- ・プリンタを持ち上げる時は、プリンタ底を持ってください。
- ・ドライバ、ユーティリティ、マニュアル類は、以下の URL からダウンロードすることができます。

<http://www.epson.jp/dl-sd>

2 各部の名称

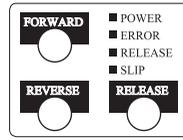


コントロールパネル

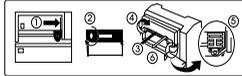
ロール紙側



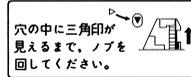
スリッ側



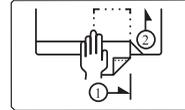
ラベル



カセットリボン設置ラベル
フロントカバー内



オートカッタラベル
カッタカバー内



スリブラベル
ドキュメントテーブル上



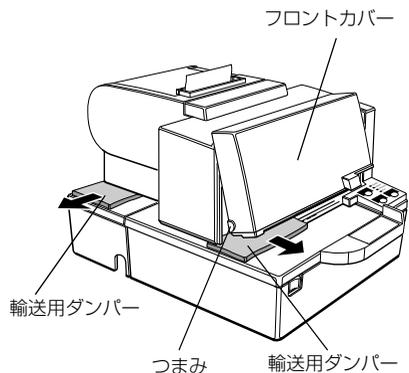
ロール紙設置ラベル
ロール紙カバー内

3 輸送用ダンパーの取り外し

輸送用ダンパーは、プリンタを使用する前に取り外してください。

● 取り外し

1. フロントカバーのつまみを引き上げてカバーを開けてください。
2. ダンパーを取り外してください。
3. 他の梱包品と一緒に保管し、プリンタの輸送時に使用してください。



4 ケーブル、アース線、電源ユニットの接続

4つのケーブルを接続するコネクタパネルとアース線の接続場所 (FG と表示されています) は、プリンタ底にあります。

注記：

接続の前にプリンタ、コンピュータなど、接続するすべての機器の電源がオフであることを確認してください。

注記：

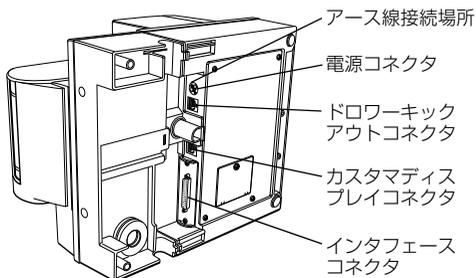
ドローキックアウトコネクタ、カスタマディスプレイコネクタ付近に、コーションラベルが貼られています。

注記：

取り付けられているインタフェースの形状によって、イラストと異なる場合があります。

注記：

取り付けられているインタフェースの形状によって、イラストと異なる場合があります。

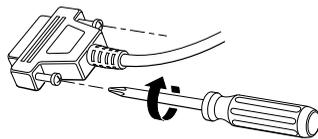


● インタフェースケーブルの接続

プリンタの仕様に合ったインタフェースケーブルをご用意ください。TM-H5000II にはシリアルインタフェースケーブル、TM-H5000IIP にはパラレルインタフェースケーブルが必要です。

以下の手順に従ってインタフェースケーブルのコネクタを接続してください。

1. ケーブルのコネクタをプリンタのインタフェースコネクタに接続します。
2. シリアルインタフェースケーブルの場合は、ケーブルコネクタをネジで締め付けます。
3. ケーブルのもう片方のコネクタをコンピュータに接続します。



● ドロワーキックケーブルの接続

⚠ 警告：

プリンタの仕様に合ったドロワーをご用意ください。

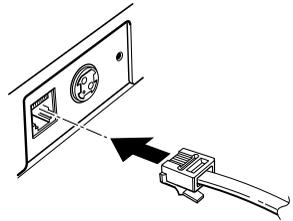
仕様に合わないものを使用すると、ドロワー内部のドロワーキックソレノイドなどが焼損し、火災の恐れがあります。また、同時にプリンタの故障の原因にもなります。

⚠ 注意：

電話回線をドロワーキックコネクタに接続しないでください。

電話回線およびプリンタの故障の原因となります。

- ・ ドロワーキックケーブルのコネクタをプリンタに接続します。



● カスタマディスプレイケーブルの接続

⚠ 注意：

カスタマディスプレイケーブルのコネクタを、電源コネクタの左側にあるドロワーキックケーブルのコネクタに間違えて接続しないでください。

コネクタおよびプリンタの故障の原因となります。

⚠ 注意：

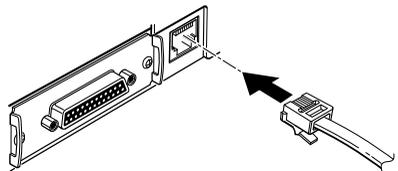
電話回線をカスタマディスプレイのコネクタに接続しないでください。

電話回線およびプリンタの故障の原因となります。

- ・ カスタマディスプレイケーブルのコネクタをプリンタに接続します。

🔑 注記：

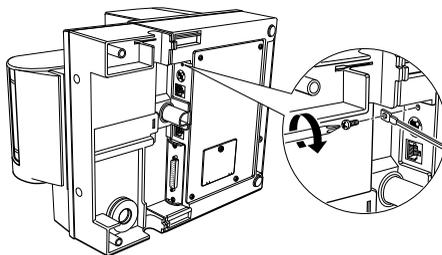
カスタマディスプレイは、シリアルインタフェースのみ使用できます。



● アース線の接続

お客様のシステムに合った長さのアース線をご用意ください。

- ・ アース線をプリンタ底の FG と示された場所に備え付けのネジで締め付けます。



● 電源ユニットの接続

⚠ 警告：

電源ユニットには、セイコーエプソン製電源、PS-180(オプション)をご使用ください。

他の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。

⚠ 注意：

電源ユニットの DC ケーブルコネクタの取り付け、および取り外しは、必ず電源ユニットの電源プラグがコンセントから外れた状態で行なってください。

コンセントに差し込んだままで作業をすると、電源ユニットおよびプリンタが壊れる可能性があります。

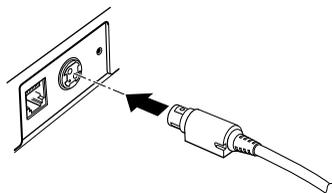
⚠ 注意：

ご使用になる電源ユニットの定格が家庭用電源コンセントからの電源と異なる場合は、電源プラグをコンセントに差し込まずに、ディーラーにお問い合わせください。

万一差し込んだ場合、電源ユニットおよびプリンタが壊れる可能性があります。

接続

1. 電源ユニットの電源プラグがコンセントから外れていることを確認します。
2. 電源ユニットの DC ケーブルコネクタをプリンタに接続します。この時コネクタの平面の方を下に向けてください。
3. 電源ユニットの電源プラグをコンセントに差し込みます。



取り外しは次の手順で行なってください。

1. プリンタの電源スイッチをオフにします。
2. 電源ユニットの電源プラグをコンセントから抜き取ります。
3. コネクタ部を持ちながら、DC ケーブルコネクタを引き抜きます。

5 ロール紙の取り付け・取り外し

 **注記：**

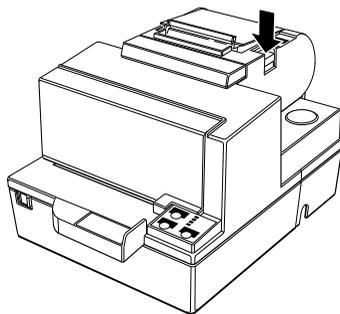
ロール紙はプリンタの仕様に合ったものをご使用ください。

 **注記：**

ロール紙は、芯にロール紙がのり付けしてあるタイプのものは使用しないでください。

● 取り付け

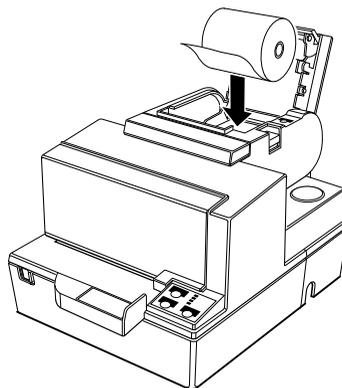
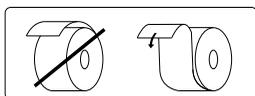
1. ホストから印字命令が来ていないことを確認し、カバーオープンボタンを押して、ロール紙カバーを開けてください。もしロール紙カバーが開かなければ、オートカッターがロックされたと考えられます。この場合は、P.15 の「紙詰まり」を参照してください。



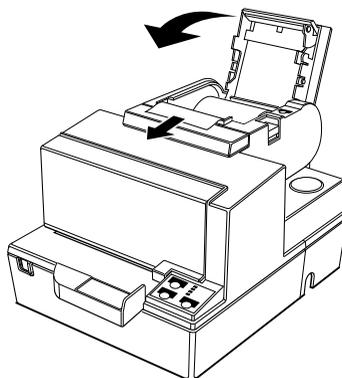
2. ロール紙をセットします。

 **注記：**

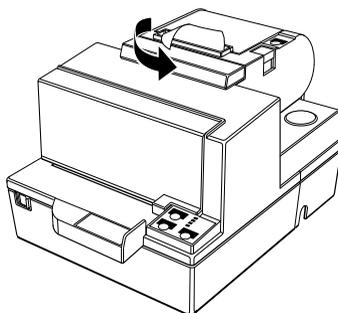
この際、ロール紙の巻き方向に注意してください。



3. ロール紙を手前に引き出し、ロール紙カバーを閉めてください。



4. ロール紙の先端を切ってください。



● 取り外し

プリンタカバーを開け、使用済みのロール紙の芯を取り出してください。

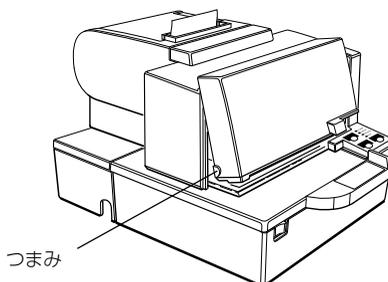
6 リボンカセットの取り付け・取り外し

注記：

リボンカセットは、セイコーエプソン製 ERC-31 をご使用ください。

● 取り付け

1. ホストから印字命令がきていないことを確認し、電源をオンにしてからフロントカバーの左側のつまみを引き上げ、カバーを開きます。

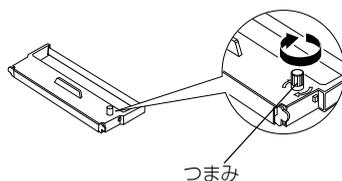


2. リボンカセットのつまみを2～3回まわして、リボンのたるみをとります。

注記：

リボンカセットのつまみは、矢印の反方向には回さないでください。

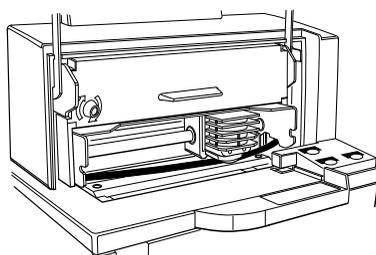
故障の原因となります。



3. プリントヘッドが右端の位置にあることを確認し、リボンカセットをプリンタにセットします。

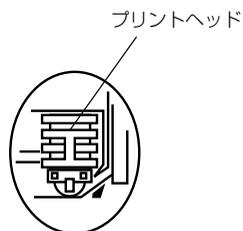
注記：

リボンがプリントヘッドの下にあることを確認してください。またリボンに折れや、しわがある場合はもう一度入れ直してください。



4. もう一度リボンカセットのつまみを2～3回まわして、リボンのたるみをとります。

5. フロントカバーを元に戻します。



7 電源スイッチカバーの取り付け

電源スイッチカバーは、必ず取り付ける必要はありません。この電源スイッチカバーを取り付けることによって、誤って電源スイッチを操作してしまうことを防ぐことができます。

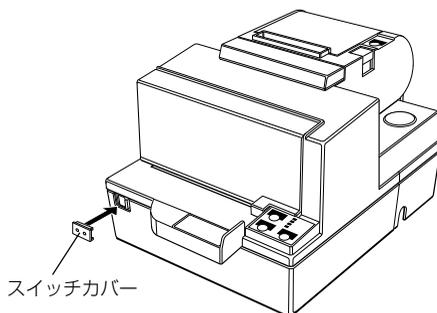
警告：

この電源スイッチカバーを取り付けた状態でプリンタに何らかの異常が生じたときは、すみやかに電源ユニットの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の可能性があります。

電源スイッチカバーを図の向きに持ち、「カチ」という音がするまで押し込みます。

取り外しの際は、先の細いものを使って取り外します。

電源スイッチカバーにある穴に先の細いものを差し込むことによって、電源スイッチのオンまたは、オフを行うことができます。



8 セルフテスト（プリンタの動作確認テスト）の行い方

セルフテストの機能を使ってプリンタの動作を確認することができます。必ず行う必要はありませんが、プリンタが正しく動作するか確認するため、一度は実行することをおすすめします。

セルフテストを実行することによって、以下のプリンタの動作を確認します。

- ・ 制御回路の機能
- ・ プリンタメカニズムの機能
- ・ 印字品質
- ・ 制御 ROM バージョン
- ・ デイップスイッチの設定状態
- ・ MICR リーダ回路機能のチェック（MICR リーダ付きのみ）

● ロール紙へのセルフテスト

1. ロール紙カバーが正しく閉じられているか、電源がオフになっているかを確認してください。
2. FEED ボタンを押しながら、電源スイッチをオンにします。セルフテストが始まり、PAPER OUT LED が点滅します。

 **注記：**

この時セルフテストはプリンタの設定状態を印字します。

3. もう一度 FEED ボタンを押します。セルフテストはプリンタの内蔵フォントを使って印字テストを始めます。
4. 印字テストは自動的に終了します。

 **注記：**

印字テスト一時停止させたい場合は FEED ボタンを押します。一時停止を解除するには、もう一度 FEED ボタンを押します。

5. 最後の行に *****completed***** と印字されたらセルフテストは終了です。プリンタは、コンピュータからの印字を行うことができます。

● スリップ紙へのセルフテスト

1. フロントカバーが正しく閉じられているか、電源がオフになっているかを確認してください。
2. REVERSE ボタンを押しながら、電源スイッチをオンにします。SLIP LED が点滅したら、スリップ紙を挿入してください。

 **注記：**

この時セルフテストはプリンタの設定状態を印字します。

3. 再びスリップ紙を挿入すると、セルフテストはプリンタの内蔵フォントを使って印字テストを始めます。

 **注記：**

印字テスト一時停止させたい場合は REVERSE ボタンを押します。一時停止を解除するには、もう一度 REVERSE ボタンを押します。

4. セルフテストは自動的に終了します。
5. *****completed***** と印字されるまでスリップ紙を挿入し続けます。セルフテスト終了後、プリンタは、コンピュータからの印字を行うことができます。

9 プリンタの操作

● 電源スイッチ

プリンタの電源をオン、オフします。

● 操作パネル

レシート

ボタン

FEED ボタン

紙送りをします。1 回押すごとに 1 行の紙送りをします。連続的に紙送りをするには、このボタンを押し続けます。

FEED ボタンを押しながら電源スイッチをオンにすると、セルフテストを実行することができます。

インディケータ

POWER LED (緑)

プリンタの電源がオンの時、点灯します。

PAPER OUT LED (赤)

ロール紙がない場合または、終わりに近づいた場合に点灯します。またセルフテスト継続待ち状態の時は点滅します。

ERROR LED (赤)

プリンタが印字できない状態の時、点灯または点滅します。次の場合に点灯します。

- (1) 電源オン直後または、インタフェースによるリセット直後。
しばらく点灯した後、自動的に消灯し、印字可能な状態となります。
- (2) ロール紙の終わりを検出し、印字が停止した時。
この場合は、新しいロール紙と交換してください。
次の場合に点滅します。
- (1) プリントヘッドが加熱状態の時。
長時間密度の高い印字を行うと、この状態になることがあります。プリントヘッドの温度が下がると点滅が消え、自動的に印字が始まります。
- (2) ロール紙が紙詰まりを起こしている時。
この場合は、P.15の「紙詰まり」を参照してください。
- (3) 上記(1)、(2)の以外の場合。
一度プリンタをオフし、しばらくしてから再びプリンタをオンにしてみてください。それでも点滅している場合は、お買い求めのお店までお問い合わせください。

スリップ

ボタン

FORWARD ボタン

紙送りをします。1回押すごとに1行の紙送りをします。連続的に紙送りをするには、このボタンを押し続けます。

REVERSE ボタン

逆方向紙送りをします。1回押すごとに1行の紙送りをします。連続的に紙送りをするには、このボタンを押し続けます。

REVERSE ボタンを押しながら電源スイッチをオンにすると、セルフテストを実行することができます。

RELEASE ボタン

スリップ紙を解除します。

インディケータ

POWER LED (緑)

プリンタの電源がオンの時点灯します。

ERROR LED (赤)

プリンタが印字できない状態の時、点灯または点滅します。次の場合に点灯します。

- (1) 電源オン直後または、インタフェースによるリセット直後。

しばらく点灯した後、自動的に消灯し、印字可能な状態となります。

- (2) ロール紙の終わりを検出し、印字が停止した時。
この場合は、新しいロール紙と交換してください。

次の場合に点滅します。

- (1) プリントヘッドが加熱状態の時。

長時間密度の高い印字を行うと、この状態になることがあります。プリントヘッドの温度が下がると点滅が消え、自動的に印字が始まります。

- (2) ロール紙が紙詰まりを起こしている時。
この場合は、P.15の「紙詰まり」を参照してください。
- (3) 上記(1)、(2)の以外の場合。

一度プリンタをオフし、しばらくしてから再びプリンタをオンにしてみてください。それでも点滅している場合は、お買い求めのお店までお問い合わせください。

RELEASE LED (緑)

印字プラテンおよび紙送りローラが解除している時(スリップ紙を挿入できる状態)点灯します。

SLIP LED (緑)

スリップ紙がセットされ、印字中の時点灯します。
スリップ挿入待ちの時、点滅します。

10 スリッ紙のセット方法

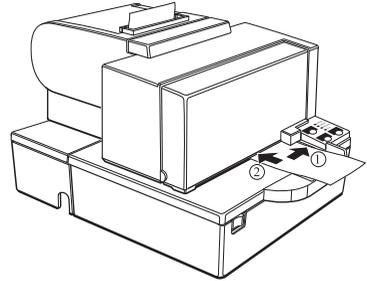
 **注記：**

スリッ紙はプリンタの仕様に合ったものをご使用ください。

 **注記：**

スリッ紙は折れ、しわ、曲りのないものをご使用ください。

1. コンピュータからプリンタへ、スリッ紙印字のための命令を送ります。
2. SLIP LED が点滅したら、スリッ紙を①紙挿入口の右端に合わせながら、②用紙先端がストッパに突き当たるまで差し込んでください。
3. スリッ紙用紙を検出すると、SLIP LED が点滅から点灯に変わり、スリッ紙が自動的に引き込まれ、印字が行われます。



 **注記：**

用紙検出後、用紙先端位置の検出のため、用紙が前後に動きます。

 **注記：**

用紙セット位置が規定位置にない場合、用紙先端位置検出のために時間がかかる場合があります。

4. 印字後、SLIP LED が点滅したら、スリッ紙を取り除きます。

11 紙詰まり

⚠ 注意：

プリントヘッドに触れないでください。

長時間の印字後は、プリントヘッドが高温になっており、やけど等の危険があります。プリントヘッドが低温になってから作業を始めてください。

1. 電源をオフにし、紙詰まりを起こしているカバー（ロール紙カバーまたはフロントカバー）を開けます。
2. レシート側で紙詰まりを起こしている場合は、カバーオープンボタンを押し、カバーを開けてください。
3. 詰まったレシートを取り除き、ロール紙を再セットしてください。
4. スリップ側で紙詰まりを起こしている場合は、フロントカバーを開けて、詰まったスリップを取り除いてください。

🔧 注記：

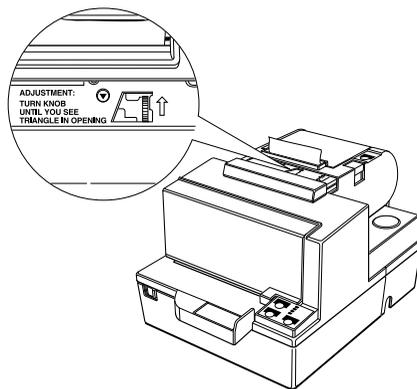
もしレシート側で紙詰まりが起こり、ロール紙カバーが開かなくなった場合は、オートカッタがロックされたと考えられます。軽い紙詰まりであれば、オートカッタは自動的に復帰します。万一復帰しない場合は、オートカッタカバーを開け、ノブを矢印方向に、三角マークが穴から見えるまで回してください。カッター刃が正常位置に戻ります。

🔧 注記：

紙詰まり以外でも、異物落下（虫ピン、クリップなど）により、オートカッタロックが起こる場合があります。その際には、上記の手順に従って、オートカッタ刃を正常位置に戻してください。

🔧 注記：

ロール紙カバーが開かなくなった場合以外は、オートカッタカバーを開けないでください。



12 ディップスイッチの確認・設定

下表をもとに設定変更が必要か確認してください。

シリアルインタフェース仕様

DIPスイッチ1

SW	機能	ON	OFF
1	データ受信エラー	無視	‘?’ を印字
2	受信バッファ容量	45 バイト	4K バイト
3	ハンドシェイク	XON/XOFF	DTR/DSR
4	ビット長	7 bits	8 bits
5	パリティチェック	あり	なし
6	パリティ選択	偶数	奇数
7	ポーレイトの選択		

DIPスイッチ1

8	(右に示すポーレイトの選択を参照)
---	-------------------

ポーレイトの選択

転送速度 [BPS]	スイッチ番号	
	7	8
2400	ON	ON
4800	OFF	ON
9600	ON	OFF
19200	OFF	OFF

DIPスイッチ2

SW	機能	ON	OFF
1	ハンドシェイクの動作 (BUSY となる条件)	受信バッファフル	オフラインもしくは受信バッファフル
2	カスタマディスプレイ (DM-D) の接続	接続	未接続
3	印字濃度の選択	(下図参照)	
4			
5	内部使用		OFF 固定
6	内部使用		OFF 固定
7	#6 ピンリセット信号	使用する	使用しない
8	#25 ピンリセット信号	使用する	使用しない

印字濃度 / 低消費量のモードの選択 (レシート部) の設定

レベル	印字濃度	スイッチ番号	
		3	4
1	低消費電力モード 薄い	ON	ON
2	↕	OFF	OFF
3	濃い	ON	OFF

パラレルインタフェース仕様

DIP スイッチ 1

SW	機能	ON	OFF
1	自動改行	常時有効	常時無効
2	受信バッファ容量	45 バイト	4K バイト
3-8	未定義	—	—

DIP スイッチ 2

SW	機能	ON	OFF
1	ハンドシェイクの動作 (BUSY となる条件)	・ 受信バッファフル ・ データ読取中	・ オフライン ・ 受信バッファフル ・ データ読取中
2	予約	接続	未接続
3-4	印字濃度の選択	(下図参照)	
5-7	予約	OFF 固定	
8	#31 ピン リセット信号	ON 固定	

注記：

DIP スイッチ 2-2、2-5、2-6、2-7、2-8 の設定は変えないでください。

印字濃度 / 低消費量のモードの選択 (レシート部) の設定

レベル	印字濃度	スイッチ番号	
		3	4
1	低消費電力モード	ON	ON
	薄い	OFF	OFF
2	↕	ON	OFF
3	濃い	OFF	ON

設定を変更する場合は、次の手順で行います。

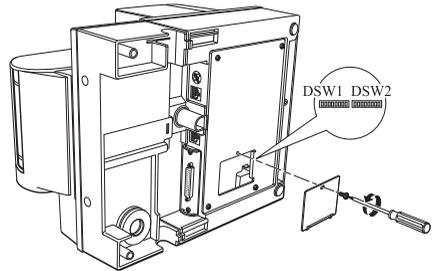
⚠ 注意：

ディップスイッチのフタを外すときは、プリンタの電源をオフにしてください。電源を入れたままで外すと、ショートなどにより、プリンタを故障させる可能性があります。

1. プリンタの電源がオフであることを確認します。
2. ネジを外し、プリンタ底のディップスイッチのフタを外します。
3. 先の細いものを使って、ディップスイッチの設定をします。
4. ディップスイッチのフタを取り付け、ネジで固定します。

🔧 注記：

新しい設定は、プリンタの電源をオンにしたときから有効になります。



13 ロール紙残量検出器の調節

本説明はロール紙残量検出器を使用する場合のみ、お読みください。

注記：

□ロール紙は巻芯内径 ϕd が 12 mm、外径が 18 mmの指定紙を使用してください。

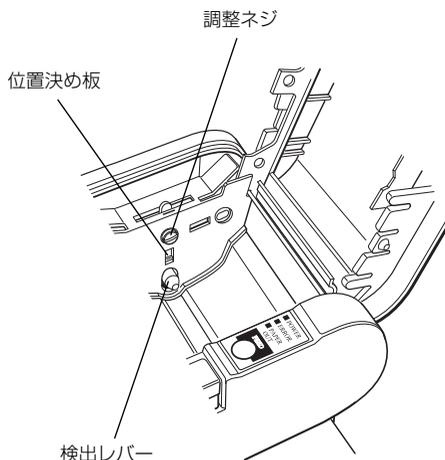
1. ロール紙カバーを開け、ロール紙を取り出します。
2. 検出器を止めている調整ネジをゆるめ、調整目盛り段に位置決め板の上端を合わせます。調整位置は以下の通りです。

調整目盛り段	ロール紙残量 (外径：mm)
# 1	約 23
# 2	約 27

注記：

工場出荷時は、# 1 に調整されています。

3. 調整ネジを締め付けます。
4. 調整後、検出レバーがスムーズに動作することを確認してください。
5. ロール紙をセットしてください。



14 フロント拡張テーブル (オプション)

標準でプリンタに取り付けられているフロント拡張テーブルの他に、オプションとして標準よりも大きいサイズのフロント拡張テーブル (WT-5000) が用意されています。

下記に従って、WT-5000 をプリンタに取り付けてください。

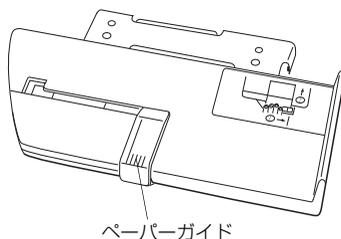
注記：

作業の前にプリンタから電源を取り外してください。(電源スイッチをオフするだけでなく、電源を取り外してください。)

開梱

梱包箱には次のものが入っています。

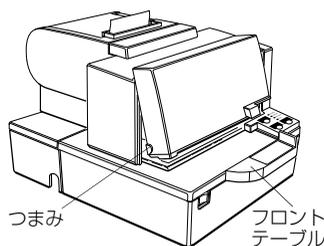
WT-5000



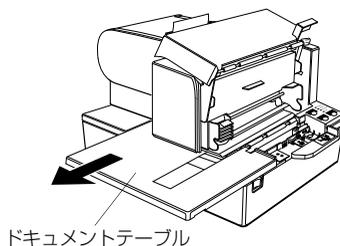
もし、不足しているものや、損傷を受けているものがありましたら、お買い求めいただいたお店にお問い合わせください。

WT-5000 の取り付け

1. プリンタのフロントカバーの左側のつまみを引き上げ、カバーを開きます。



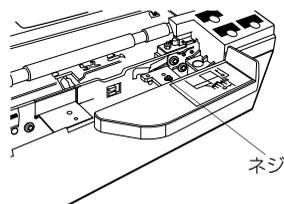
2. ドキュメントテーブルをイラストのように左方向にスライドさせ、取り外してください。



3. ネジを外し、標準で付いているフロントテーブルを、プリンタから取り外してください。

 **注記：**

取り外したネジを、プリンタ内部に落とさないようにしてください。

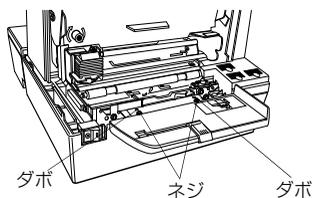


4. イラストのようにダボを合わせ、WT-5000 をネジでプリンタに固定します。

5. ドキュメントテーブルを右にスライドさせ、プリンタに取り付け、フロントカバーを閉じてください。

 **注記：**

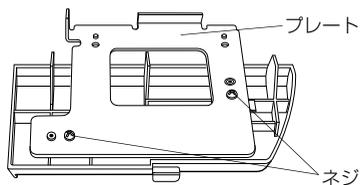
ペーパーガイドは、使用する紙幅に合わせて、スライドさせてください。



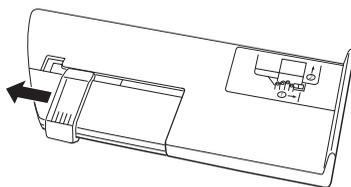
ペーパーガイドの取り外し

紙幅の広い用紙を使用する場合、ペーパーガイドを取り外すことをお勧めします。

1. WT-5000 の裏側のネジを外し、プレートを取り外します。



2. ペーパーガイドを、イラストのようにスライドさせてから、取り外します。



3. 再びプレートを取り付け、WT-5000 をプリンタに取り付けてください。

 **注記：**

ペーパーガイドは、設置マニュアルと一緒に保管してください。

TM-H5000II 仕様

プリントヘッド	スリップ：シリアルインパクトドットマトリックス レシート：ラインサーマル印字方式（感熱方式）
ヘッドワイヤ配列	スリップ：9本縦1列 ワイヤピッチ約 0.353 mm {1/72 インチ}
ドット密度	レシート：180 dpi x 180 dpi
印字方向	スリップ：双方向最短距離印字 レシート：フリクションフィールドによる1方向送り
印字幅	スリップ：135.6 mm レシート：72 mm、512 ドットポジション
印字桁数 (1行あたりの文字数)	スリップ： フォント A (9 ´ 9) : 66、フォント B (7 ´ 9) : 88 漢字 (16 ´ 16) : 44 レシート： フォント A (12 ´ 24) : 42、フォント B (9 ´ 17) : 56 漢字 (24 ´ 24) : 21
文字サイズ (mm)	スリップ： フォント A: 1.6 ´ 3.1、フォント B: 1.3 ´ 3.1、漢字: 2.7 ´ 2.9 レシート： フォント A: 1.41 ´ 3.39、フォント B: 0.99 ´ 2.40、漢字: 3.39 ´ 3.39
文字間スペース	スリップ（ハーフドット単位）： フォント A: 3 ドット、フォント B: 2 ドット、漢字: 左0、右2ドット レシート： フォント A: 0.28 mm（2ドット）、フォント B: 0.28 mm（2ドット）
印字スピード	スリップ： フォント A: 233 cps、フォント B: 311 cps、漢字: 45 cps レシート： 高速モード：最大 120 mm/s {約 4.72 インチ/s}、最大 38 lps（改行量が 3.18 mm {1/8 インチ} 換算の場合）、最大 28.4 lps（改行量が 4.23 mm {1/6 インチ} の場合） 低消費モード：約 16.5 lps（改行量が 4.23 mm {1/6 インチ} の場合） 約 70 mm/s {約 2.76 インチ/s} ラダーバーコード印字時、約 42 mm/s {約 1.7 インチ/s}
紙送りスピード	スリップ：約 60.3 ms/行 4.23 mm {1/6 インチ} 紙送り、約 86.4 mm/s {3.4 インチ/s} 連続紙送り レシート：約 120 mm/s（約 4.72 インチ/s）連続紙送り
紙送り間隔（初期設定）	約 4.23 mm {1/6 インチ}
文字種類	スリップ：英数字：95、国際文字：32、拡張グラフィックス：128 ´ 10 ページ（空白ページを含む）、漢字：JIS(JISX0208-1990) 第1水準、第2水準 レシート：英数字：95、国際文字：37、拡張グラフィックス：128 ´ 8 ページ（空白ページを含む）、漢字：JIS(JISX0208-1990) 第1水準 3489 文字、第2水準 3390 文字
文字構成 (ハーフドット単位)	スリップ（ハーフドット単位）：フォント A（9 ´ 9、3 ドットスペース）、フォント B（7 ´ 9、2 ドットスペース）、漢字（16 ´ 16、左0、右2ドットスペース） レシート：フォント A（12 ´ 24、横2ドットスペース含む）、フォント B（9 ´ 17、横2ドットスペース含む）、漢字（24 ´ 24）
ロール紙（指定感熱紙）	紙幅：79.5 ± 0.5 mm、最大外形：Φ83 mm 巻芯：内径 12 mm、外形 18 mm ロール紙型番：NTPO80-80 （株）中川製作所 [原紙型番：TF50KS-E 日本製紙（株）] 以下の感熱紙（原紙）は指定紙の代わりに使用可能。 原紙型番 PD160R（新王子製紙（株）） TP60KS-F1（日本製紙（株）） AF50KS-E（Jujo Thermal Oy (Finland)） P350 (F380)、P310、P300 (Kanzaki Specialty Papers (USA))

TM-H5000II 仕様

スリップ紙	種類：普通紙、複写カーボン紙、感圧紙 総厚：0.09～0.36 mm 寸法（幅×長）：70×70～210×297 mm (A4 サイズ)
	周囲温度とコピー能力の関係： オリジナル＋4枚コピー（20～45° C） オリジナル＋1～3枚コピー（5～45° C）
	コピー能力と紙厚： 普通紙（一枚紙）：0.09～0.2 mm 複写カーボン紙の組み合わせ： 最大5枚（オリジナル＋4枚コピー紙、20～45° C） 台紙：0.06～0.15 mm コピー紙およびオリジナル紙：0.04～0.07 mm カーボン紙：約0.035 mm 複写カーボン紙総厚：0.30 mm以下（1～1+3）、0.36 mm以下（1+4） 感圧紙： 台紙：0.06～0.15 mm コピー紙およびオリジナル紙：0.06～0.075 mm 感圧紙総厚：0.24 mm以下（1～1+3）、0.30 mm以下（1+4）
リボンカセット	ERC-31
バッファ容量	45 バイトまたは 4K バイト（ディップスイッチの設定による）
インタフェース	RS-232、IEEE 1284 ディーラーオプション：RS-485
D.K.D 機能	2 ドライブ
動作電圧	+24 VDC ± 10%
消費電流	スリップ部： 動作時：平均約 1.9A、ピーク約 8.0A レシート部： 動作時：平均約 1.7A、ピーク時約 7.7A 低消費電力モード：平均約 1.2A、ピーク約 6.6A 待機時：平均約 0.3A
信頼性	スリップ部： 寿命： 機械体：1200 万行 印字ヘッド：2.0 億文字 リボン：450 万文字 MICR 機構部（MICR リーダ付きのみ）：24 万パス レシート部： 寿命： 機械体：1500 万行 サーマルヘッド：1 億パルス、100 km オートカッタ：150 万カット
温度	動作時：5～45° C 保存時：-10～50° C（用紙は除く）
湿度	動作時：10～90% RH 保存時：10～90% RH（用紙は除く）
外形寸法	201×252×331 mm（H×W×D）
質量	約 6.5 kg

[cps: 1 秒間あたりの文字数 (characters per second)]

[lps: 1 秒間あたりの行数 (lines per second)]

[dpi: 25.4 mmあたりのドット数 (dots per inch)]

Printed in China
1999.12